

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【公開番号】特開 2009-272888 (P2009-272888A)
【公開日】平成 21 年 11 月 19 日 (2009.11.19)
【年通号数】公開・登録公報 2009-046
【出願番号】特願 2008-121647 (P2008-121647)
【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 9 日 (2011.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変長部と固定長部とからなる伝送フレームを送信する送信装置にて実行される送信方法であって、

再生同期用信号を生成する手段が、外部装置から入力されたデータから、前記入力されたデータの標本化周期に応じた周期の再生同期用信号を生成する工程と、

クロック信号を生成する手段が、前記外部装置から入力されるデータの標本化周期に応じた周期のクロック信号を生成する工程と、

検出手段が、前記動作モードの切り換えによって生じる、前記再生同期用信号と、前記クロック信号との位相差を検出する検出工程と、

フレーム生成手段が、前記検出した位相差に応じて前記可変長部の長さを変更した伝送フレームを生成するフレーム生成工程と、

送信手段が、前記生成した前記伝送フレームを、前記クロック信号の周期に同期して受信装置へ送信する送信工程と、

を有することを特徴とする送信方法。

【請求項 2】

前記検出工程では、前記可変長部と前記送信装置の内部で生成されたデータに基づいて生成された前記固定長部とからなる伝送フレームを送信する第 1 の動作モードから、前記可変長部と前記外部装置から入力されたデータに基づいて生成された前記固定長部とからなる伝送フレームを送信する第 2 の動作モードへの切り換えによって生じる、前記再生同期用信号と前記クロック信号との位相差を検出することを特徴とする請求項 1 記載の送信方法。

【請求項 3】

前記動作モードは、データを入力する外部装置が変更されることによって切り換わることを特徴とする請求項 1 記載の送信方法。

【請求項 4】

前記フレーム生成工程では、前記可変長部の長さを所定の範囲で変更することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の送信方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の送信方法を実行する送信装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の送信装置と、当該送信装置から送信された伝送フレームを受信する受信装置とで構成されることを特徴とする通信システム。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の送信方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 8】

外部装置から入力されるデータから生成した伝送フレームを送信する第 1 の動作モードと、送信装置の内部で生成されるデータから生成した伝送フレームを送信する第 2 の動作モードと、を切り換えて動作することが可能な送信装置であって、

前記外部装置から入力される、再生同期用データを含む多チャンネル音響データをデコードし、音響データと再生同期用信号とを生成するデコーダと、

システム設定に関するコマンドデータ、もしくはヌルデータを生成する送信データ生成部と、

前記第 1 の動作モードの場合は、前記デコーダにより生成された音響データを出力し、前記第 2 の動作モードの場合は、前記送信データ生成部により生成されたデータを出力するデータセクタと、

前記第 1 の動作モードの場合は、前記デコーダにより生成された再生同期用信号を出力し、前記第 2 の動作モードの場合は、信号の出力を行わないよう制御するクロックセクタと、

前記再生同期用信号の周期に応じた周期のクロック信号を生成するクロック生成部と、

前記第 1 の動作モードの場合は、前記デコーダにより生成された再生同期用信号と、前記クロック生成部により生成されたクロック信号との位相差情報を出力し、前記第 2 の動作モードの場合は、所定の位相差情報を出力する出力部と、

前記出力部の出力に基づいて、調整時間情報を生成する調整時間判定部と、

前記データセクタの出力と、前記調整時間判定部により生成された調整時間情報と、に基づいて、データフレームを生成するデータフレーム生成部と、

前記データフレーム生成部により生成されたデータフレームから OFDM シンボルを生成する生成部と、

バースト信号を生成するバースト信号生成部と、

前記バースト信号と、前記 OFDM シンボルと、前記調整時間情報に応じた長さのフレーム調整信号と、からなる伝送フレームを生成する生成手段と、

前記クロック信号生成部により生成されたクロック信号の周期に同期して、前記伝送フレームを送信する送信手段と、

を有することを特徴とする送信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、可変長部と固定長部とからなる伝送フレームを送信する送信装置にて実行される送信方法であって、

再生同期用信号を生成する手段が、外部装置から入力されたデータから、前記入力されたデータの標本化周期に応じた周期の再生同期用信号を生成する工程と、

クロック信号を生成する手段が、前記外部装置から入力されるデータの標本化周期に応じた周期のクロック信号を生成する工程と、

検出手段が、前記動作モードの切り換えによって生じる、前記再生同期用信号と、前記クロック信号との位相差を検出する検出工程と、

フレーム生成手段が、前記検出した位相差に応じて前記可変長部の長さを変更した伝送

フレームを生成するフレーム生成工程と、

送信手段が、前記生成した前記伝送フレームを、前記クロック信号の周期に同期して受信装置へ送信する送信工程と、
を有することを特徴とする。